

WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR サービス仕様書

バージョン 1.03

2024 年 1 月 17 日

NTT コミュニケーションズ株式会社

目次

1. はじめに	4
1.1. 本書の目的	4
1.2. 関連文書	4
1.3. 用語の定義	4
2. サービス概要	6
2.1. サービス概要	6
3. サービス仕様	7
3.1. 提供区分	7
3.2. 提供メニュー	7
3.3. 提供条件	8
3.4. 提供機能一覧	12
3.5. 提供機能（基本サービス機能）	15
3.6. 提供機能（作業依頼機能）	20
3.7. サービスレベル	24
3.8. 提供地域	24
4. 工事・故障対応	25
4.1. 工事	25
4.2. 故障対応	29
5. 料金	31
5.1. サービスの価格	31
6. お申し込み・ご利用	32
6.1. お申し込み	32
6.2. 標準開通日	35
6.3. 開通案内・配布同梱物	35
6.4. お問い合わせ・作業依頼受付	36
6.5. 故障受付	37
6.6. お問い合わせ受付・運用受付/通知方法	37
6.7. 工事通知（メンテナンス通知）	38
6.8. 故障通知	39
7. 重要事項・留意事項	40
7.1. 重要説明事項	40
7.2. 留意事項	42
改訂履歴	44

記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。

1. はじめに

1.1. 本書の目的

本書は、マネージド SOAR のサービス提供機能、利用条件、および注意事項などについて記述したものです。本書に記載の内容について、予告なく変更される場合があります。

1.2. 関連文書

文書名
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR サービス仕様書
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 標準提案書
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 利用規約
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 自動対処機能説明書【ご契約者様向け】
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 新設/変更/簡易変更/廃止申込書
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR ヒアリングシート
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 対処除外設定リスト
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 対処除外設定リスト作成時の留意事項
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR カスタマーポータルご利用ガイド
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR NTT Com 工事用アカウント準備ガイド
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR NTT Com 工事用アカウント削除ガイド
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 検知試験ガイド(AzureADP2、MDE、MDI、MDCA)
WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 検知試験チェックシート(AzureADP2、MDE、MDI、MDCA)

1.3. 用語の定義

本サービスで使用する用語は以下の通りです。

用語	定義
Microsoft Sentinel	Microsoft 社のセキュリティ運用の自動化ソリューション
SOAR	Security Orchestration, Automation and Response の略称。お客さま環境のインシデント管理やインシデント対応の自動化を支援するためのセキュリティソリューション
SIEM	Security Information and Event Management の略称。SOAR 同様にさまざまなソースから収集したデータをインシデント検知や分析に活用するソリューション
Logic Apps	Azure Logic Apps は Microsoft 社のクラウド プラットフォーム。自動化されたワークフローを作成、実行できます。 またこの機能を使用して構築したワークフローのことを指す場合もあります。

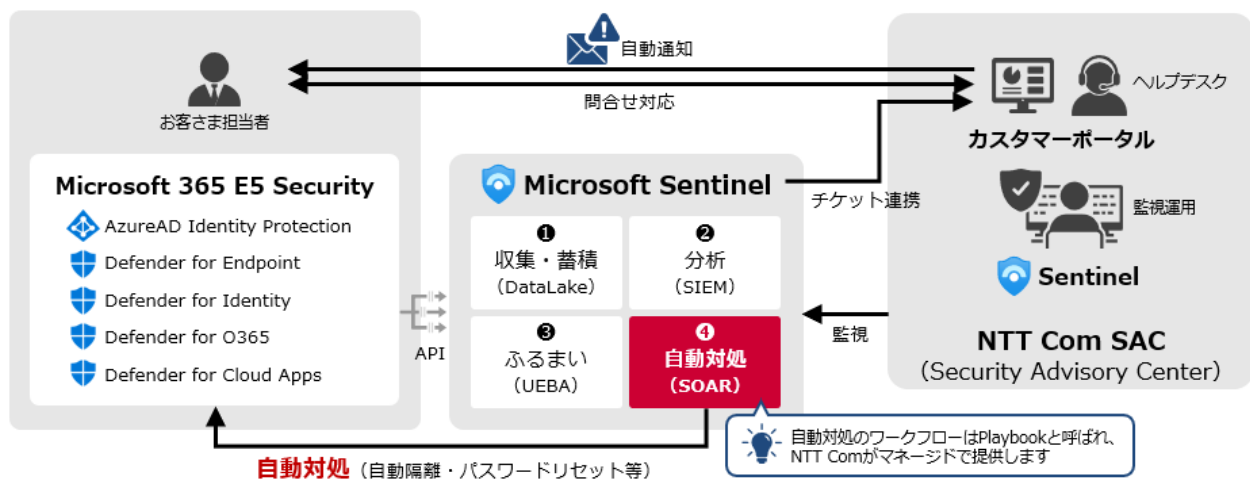
Playbook	アラートやインシデントに対する応答として Microsoft Sentinel から実行できる手順のコレクションです。
SAC	セキュリティアドバイザリーセンターの略称
ServiceNow	ServiceNow 社。ServiceNow 社が提供するプラットフォームを指す場合もあります。
NTT Com	NTT コミュニケーションズの略称

2. サービス概要

2.1. サービス概要

- 本サービスは、お客さまのセキュリティデバイスに対し、Microsoft 社のクラウド SIEM/SOAR 製品である Microsoft Sentinel を用いた、セキュリティ監視、自動ログ分析、自動対処を提供するサービスです。
- 本サービスでサポートするログを監視対象として、SIEM（Security Information and Event Management）による自動ログ分析、SOAR（Security Orchestration and Automation Response）による自動対処を実現します。
- お客さま担当者は、カスタマーポータルから本サービスに関する各種問い合わせ、各種作業依頼等を行います。
- NTT コミュニケーションズは、カスタマーポータルにて、各種問い合わせ回答、各種作業依頼回答を行います。

（参考）サービス提供イメージ



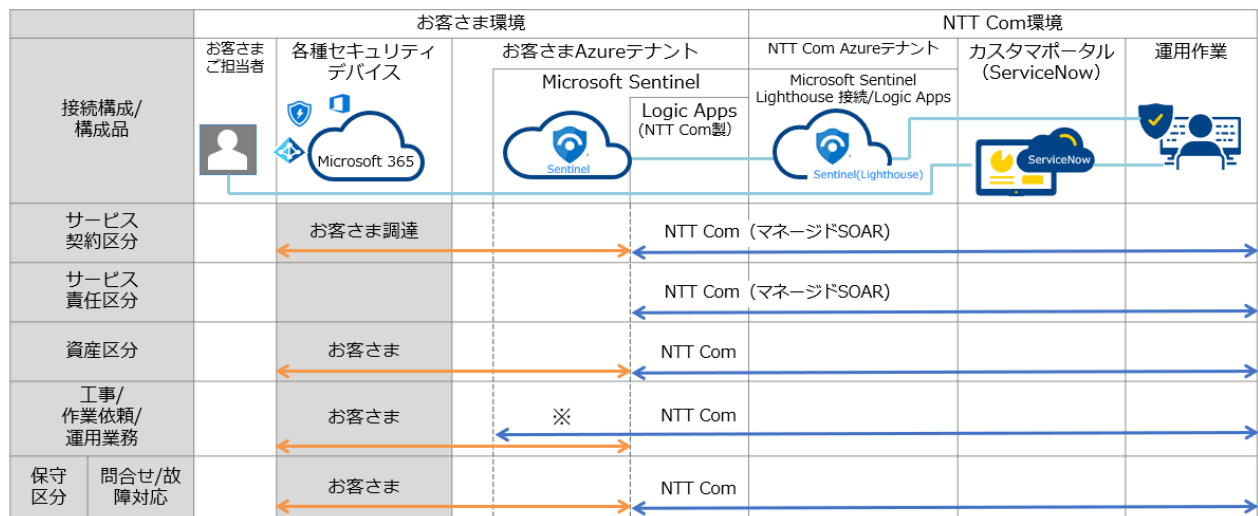
3. サービス仕様

3.1. 提供区分

本サービスのサービス提供/保守区分は、下図の通りです。

お客さまにて Microsoft Sentinel のサブスクリプションを調達いただいたうえで、NTT コミュニケーションズにて Microsoft Sentinel の構築を行い、Logic Apps を提供します。

またカスタマーポータルを提供し、お客さまからのお問い合わせや作業依頼等を受け付けます。



※お客さま Azure テナントの Microsoft Sentinel に対し、開通工事時や運用中に NTT コミュニケーションズ推奨の設定をさせていただきます。

3.2. 提供メニュー

マネージド SOAR の提供メニューは以下の通りです。

サービス区分	メニュー名	概要説明
基本サービス	基本プラン	<ul style="list-style-type: none"> ログ収集/自動ログ分析/自動通知/自動対処 カスタマーポータル 作業依頼ポイントは含まれません。(0 ポイント)
オプションサービス	作業依頼ポイント追加	<ul style="list-style-type: none"> 作業依頼に利用いただけるポイントを、予め申し込みいただき、提供します。(5 ポイント単位/月、上限 50 ポイント)

3.3. 提供条件

3.3.1. Microsoft Sentinel について

- お客さまには本サービスの提供に必要なとなる新規の Azure サブスクリプションをご準備いただきます。ご準備いただいたサブスクリプション上に、NTT コミュニケーションズが Microsoft Sentinel を構築します。
- 上記サブスクリプションは、お客さまが監視を希望される Microsoft 365 と同一テナント（同一の Azure AD 管理）でご準備いただく必要があります。
- お客さまのサブスクリプションと NTT コミュニケーションズのサブスクリプションを Azure Lighthouse により連携します。NTT コミュニケーションズに対して権限を委譲していただくことで、本サービスの提供を実現します。
- NTT コミュニケーションズが本サービスで提供する Logic Apps 以外の、お客さま Azure テナントに対するサポート（故障対応を含む）は本サービスでは提供いたしかねます。



NTT コミュニケーションズからお客さまサブスクリプション内のリソース（仮想マシン、ストレージ、データベース等）が確認可能な状態となるため、上記サブスクリプション上でのリソース作成はお控えください。



お客さまご自身で、Microsoft Sentinel をはじめとした Azure の設定を変更することにより、本サービスが正常に提供できなくなる可能性があります。（データコネクタの設定を変更する、ログ保存期間を変更する、Logic Apps の設定を変更する、Playbook 用アカウントに MFA（多要素認証）を設定する¹ など）。

3.3.2. サポートデバイス毎の構成条件・設定条件

- 各サポートデバイスを対象としてお申し込みいただく場合には、前提として、サポートデバイス毎に以下の構成、設定をしていただくことが提供条件となります。
- お客さまが各デバイスを利用中である場合に、Sentinel 標準のデータコネクタを利用して、Azure Monitor にログを取りこみ、Sentinel がログ分析を行います。

¹ Playbook 用アカウントに MFA（多要素認証）を設定すると、Playbook の一部の機能が動作しなくなります。

本サービスでサポートされるデバイスは、以下となります。



本書に記載しているサポートデバイスの「Azure AD Identity Protection / P2」 は「Azure AD Premium P2」のことを指します。

サポートデバイス	構成条件/設定条件
Azure AD Identity Protection / P2	<ul style="list-style-type: none"> ・ Azure Active Directory Identity Protection は、Azure AD Premium P2 ライセンスをお持ちのお客さまが利用できる機能です。 ・ Azure テナント配下に、Azure AD Premium P2 と、Azure Monitor、Microsoft Sentinel が存在する構成とします。 ・ Azure AD P2 としてアラートが発生することを事前にご確認ください。 ・ パスワードリセットなどの自動対処を実施するには、MFA（多要素認証）を設定いただいている必要があります。 ・ Azure AD のパスワードリセットをご希望の場合、SSPR（セルフサービスパスワードリセット）を有効にいただいている必要があります。 ・ オンプレミス AD のパスワードリセットも併せてご希望の場合には、Azure AD に writeback を設定いただいている必要があります。
Microsoft Defender for Identity	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Defender for Identity と、Microsoft Defender for Endpoint Plan2 ライセンスをお持ちである必要があります。 ・ Azure テナント配下に、Microsoft Defender for Identity と、Microsoft Defender for Endpoint、Azure Monitor、Microsoft Sentinel が存在する構成とします。 ・ Microsoft Defender for Identity で監視対象のオンプレミスの Active Directory サーバーには、お客さまにて Agent（センサー）がインストールされ有効化されている必要があります。Microsoft Defender for Identity としてアラートが発生することを事前にご確認ください。 ・ Microsoft Defender for Endpoint で監視対象の Client 端末には、お客さまにて Agent が全て有効化されている必要があります。 ・ パスワードリセットなどの自動対処を実施するには、MFA（多要素認証）を設定いただいている必要があります。 ・ Azure AD のパスワードリセットをご希望の場合、SSPR（セルフサービスパスワードリセット）を有効にいただいている必要があります。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンプレミス AD のパスワードリセットも併せてご希望の場合には、Azure AD に writeback を設定いただいている必要があります。
Microsoft Defender for Endpoint	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Defender for Endpoint Plan2 ライセンスをお持ちである必要があります。 ・ Azure テナント配下に、Microsoft Defender for Endpoint と、Azure Monitor、Microsoft Sentinel が存在する構成とします。 ・ Microsoft Defender for Endpoint で監視対象の Client 端末には、お客さまにて Agent が全て有効化されている必要があります。 <p>Microsoft Defender for Endpoint としてアラートが発生することを事前にご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Defender for Endpoint は、複数の機能がありますが、本サービスでは「アンチウィルス」「EDR」の 2 つの機能に絞って運用を行います。
Microsoft Defender for Cloud Apps	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Defender for Cloud Apps ライセンスをお持ちである必要があります。 ・ Azure テナント配下に、Microsoft Defender for Cloud Apps と、Azure Monitor、Microsoft Sentinel が存在する構成とします。 ・ Microsoft Defender for Cloud Apps としてアラートが発生することを事前にご確認ください。 ・ パスワードリセットなどの自動対処を実施するには、MFA（多要素認証）を設定いただいている必要があります。 ・ Azure AD のパスワードリセットをご希望の場合、SSPR（セルフサービスパスワードリセット）を有効にいただいている必要があります。 ・ オンプレミス AD のパスワードリセットも併せてご希望の場合には、Azure AD に writeback を設定いただいている必要があります。 ・ Microsoft Defender for Cloud Apps は、主に脅威検知とシャドーIT 検知の機能がありますが、本サービスでは「脅威検知」の対応を実施します。
Microsoft Defender for Office 365	<ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Defender for Office 365 Plan2 ライセンスをお持ちである必要があります。 ・ Azure テナント配下に、Microsoft Defender for Office 365 と、Azure Monitor、Microsoft Sentinel が存在する構成とします。 ・ Microsoft Defender for Office 365 としてアラートが発生することを事前にご確認ください。

UEBA*1	<ul style="list-style-type: none"> ・ UEBA の利用には、Azure AD Identity Protection / P2 のログ収集が必須となります。このため、Azure AD Premium P2 ライセンスをお持ちである必要があります。 ・ Azure テナント配下に、Azure AD Premium P2 と Azure Monitor、Microsoft Sentinel が存在する構成とします。 ・ Azure AD P2 としてアラートが発生することを事前にご確認ください。 ・ Azure AD Identity Protection / P2 のログ収集のうち、本機能の対象となるのは Azure AD P2 の AuditLogs、SigninLogs のみで、Azure AD Identity Protection は分析対象とはなりません。
--------	---

*1 UEBA はデバイスではなく、Microsoft Sentinel に実装されている脅威検知の機能です。

3.3.3. ポイント

- ・ ポイントとは、作業依頼の申請および実施に必要となる単位で、本サービスのオプション「作業依頼ポイント」では、5 ポイント単位で契約いただけます。
- ・ NTT コミュニケーションズ セキュリティアドバイザリーセンターに作業依頼を実施する際には、作業に応じてポイントを消費します。
- ・ お客さまは申請時に残ポイントがないと申請できません。基本プランにはポイントは含まれませんので、必要なお客さまはオプション（作業依頼ポイント追加）をご契約いただくことにより、毎月発行されるポイント数を追加いただけます。
「自動ログ分析/自動通知/自動対処」の機能を 1 デバイスでもご契約いただくお客さまは、合わせてオプション（作業依頼ポイント追加）もご契約いただくことを推奨しております。
- ・ ポイントは、お客さまが作業依頼の申請を行い、セキュリティアドバイザリーセンターにて作業内容を確認し承認した時点で消費されます。作業内容・申請書の不備等により、確認作業が行われ、承認が遅れることもあります。
- ・ ポイントは利用開始日または変更日に発行（翌月以降は月単位で毎月 1 日に発行）され、消費されなかったポイントはその月末に失効します。残ポイントはカスタマーポータル上で確認することができます。

(参考) カスタマーポータルイメージ

NTT Communications					
お問い合わせ 作業依頼 ケース一覧 ナレッジ サービス設定情報 アカウント管理					
ホーム > ポイント管理					
ポイント管理					
お客様番号	開始日	終了日	作業依頼契約ポイント合計	消化数	残数
N227907775	2022-12-01	2022-12-31	15	0	15
< > 1行中 1～1行					

3.4. 提供機能一覧

3.4.1. 基本サービス機能一覧

本サービスでは、お申し込みに応じて以下の機能を提供します。

カスタマーポータルによる受付は 24 時間 365 日（日本語のみ）、回答は平日 9 時～17 時（※年末年始を除く）となります。詳細は、「[6.4 お問い合わせ・作業依頼受付・作業依頼受付](#)」を参照してください。

【基本プラン】

提供機能		概要
標準 提供機能	カスタマーポータル	カスタマーポータルを提供します。カスタマーポータルでは、通知アラートの確認、各種お問い合わせ、作業依頼申請、ご契約情報・サービス設定情報の確認、お客さまのログインアカウント管理、各種情報確認などが行えます。
	ログ収集	Microsoft Sentinel に標準で実装されているデータコネクタを利用してログを収集します。
	自動ログ分析	Microsoft Sentinel に標準で実装されている分析ロジックを用いて自動分析を行います。
選択型 提供機能	自動通知/自動対処	NTT コミュニケーションズが自動通知/自動対処の Playbook を作成し、Microsoft Sentinel に適用します。自動通知/自動対処が正常に機能するか監視を行います。

- 選択型提供機能は、「ログ収集」「自動ログ分析/自動通知」「自動ログ分析/自動通知/自動対処」の各セットで提供され、1 つ以上選択いただきます。
- 選択型提供機能のお申し込み時には、サポートデバイスを選択いただきます。

【選択型提供機能 対応デバイス】

サポートデバイス	選択型提供機能		
	ログ収集	自動ログ分析 /自動通知	自動ログ分析 /自動通知 /自動対処
Azure AD Identity Protection / P2	●	—	●
Microsoft Defender for Identity	●	—	●
Microsoft Defender for Endpoint	●	—	●
Microsoft Defender for Cloud Apps	●	—	●
Microsoft Defender for Office 365	●	●	—
UEBA	—	●	—

「自動ログ分析/自動通知」または「自動ログ分析/自動通知/自動対処」を申し込む場合、選択されたデバイスに対応する「ログ収集」を、併せて申し込みいただく必要があります。

提供機能	サポートデバイス	併せて申し込みが必要な ログ収集（対象デバイス）
自動ログ分析/自動通知	Microsoft Defender for Office 365	Microsoft Defender for Office 365
	UEBA	Azure AD Identity Protection / P2
自動ログ分析/自動通知/ 自動対処	Azure AD Identity Protection / P2	Azure AD Identity Protection / P2
	Microsoft Defender for Identity	Microsoft Defender for Identity
	Microsoft Defender for Endpoint	Microsoft Defender for Endpoint
	Microsoft Defender for Cloud Apps	Microsoft Defender for Cloud Apps
	Microsoft Defender for Office 365	Microsoft Defender for Office 365



UEBA（自動ログ分析/自動通知）についての注意事項

Microsoft Defender for Identity のログ収集の利用は必須ではありませんが、利用される場合は、オンプレミス AD のログも自動ログ分析/自動通知の対象となります。

上記に加え、「SecurityEvents」および「AzureActivity」の任意ログソースを対象としたい場合は、お客さまにて該当ログの収集設定が必要です。なお、該当ログの収集設定が新規開通以降となる場合は、別途 NTT コミュニケーションズ側での変更工事が必要となり、変更申込が必要となります。お客さま側の収集設定だけでは自動ログ分析/自動通知の対象となりません。

3.4.2. 作業依頼機能一覧

本サービスでは、オプションサービスの「作業依頼ポイント追加」を契約いただき、このポイントを消費することで、以下の作業依頼機能をお客さまからの作業依頼申請に基づき提供します。

作業は、作業依頼の承認日から 3 営業日以内に実施いたします。作業実施は平日 9 時~17 時（※年末年始を除く）となります。

同時にご依頼できる作業は 1 件までとし、作業が完了し、ケースが Close となるまでは、次の作業依頼をすることはできません。

【作業依頼機能】

No.	作業依頼機能	概要	必要ポイント数
1	アラートレポート作成	お客さまから指示いただいた期間のアラートを一覧（csv）にて報告します。アラートの中身の調査報告は含まれません。 ・アラート期間（過去 2 か月） ・アラート種類（SigninLogs、SecurityAlert、BehaviorAnalytics）	1
2	ログ保存期間変更	Log Analytics ワークスペースに保管するログの保存期間は製品としてはデフォルト 30days ですが、本サービスでは 90days を初期設定としています。 作業依頼の申請により、以下の設定値への変更が可能です。 保存期間（30, 31, 60, 90, 120, 180, 270, 365, 550, 730）	1
3	アラート調査	セキュリティアドバイザリーセンターから通知したアラートに対して不明点がある場合に、調査し報告します。	2
4	対処除外設定	Microsoft Sentinel 上で対処（端末隔離、アカウントのパスワードリセット）が不要な端末がある場合は、対処対象外に設定します。 「自動ログ分析/自動通知/自動対処」を利用している場合で、自動対処を行わず自動通知のみとしたい際に、申請に基づき設定します。 「自動ログ分析/自動通知/自動対処」を利用している場合で、自動通知のみだったが自動対処も行いたい際に、申請に基づき設定します。	1



「対処除外設定」については、サービス開通時に特定の端末について希望がある場合のみ、新設に必要な申込様式（対処除外設定リスト）に記入いただくことで開通時に設定を行います。開通後の依頼は本作業依頼にて申請してください。



アラート調査の場合、Microsoft からの当該アラートに関する情報開示度によっては作業依頼の受理・不受理の判定までに、3 営業日かかる場合があります。

3.5. 提供機能（基本サービス機能）

3.5.1. カスタマーポータル

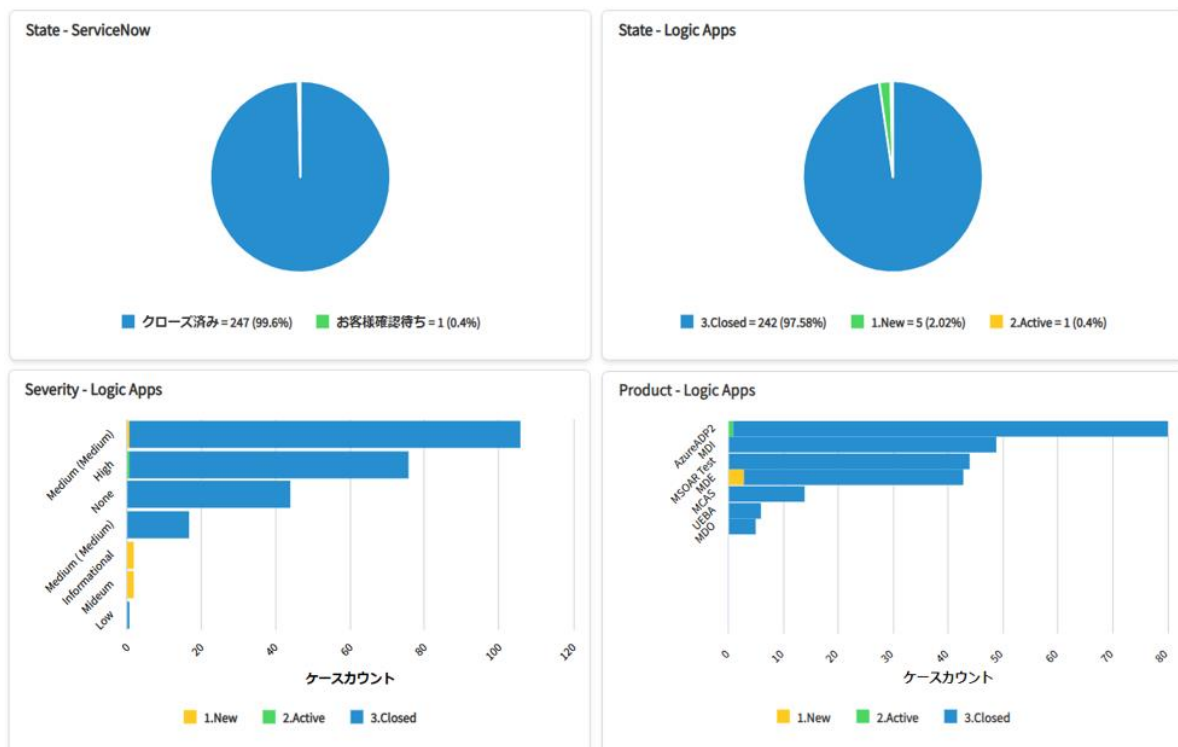
- 本サービスでは、カスタマーポータルを提供し、サービスとして提供されるものは、基本的にカスタマーポータルを通じて提供されます。
- お客さまとセキュリティアドバイザリーセンターとのやり取りは、すべてカスタマーポータルを通じてやり取りされます。
- カスタマーポータルは ServiceNow を利用しており、お客さまはインターネットからアクセスすることが可能です。
- カスタマーポータルへのログインには多要素認証のご利用が可能です。
- カスタマーポータルでは、各種お問い合わせ、作業依頼の申請、お客さまのご契約情報・サービス設定情報のご確認、お客さまのログインアカウント管理（ユーザー追加・変更、連絡先変更等）、各種情報（工事情報、お知らせ、各種マニュアル）のご確認などが行えます。
- お客さまのログインアカウントは、管理者と担当者と 2 つの権限があります。管理者アカウントは、ユーザーの追加が可能です。担当者アカウントは、自分自身のユーザー情報変更が可能です。

(参考) カスタマーポータルイメージ



- ・ カスタマーポータルには、ダッシュボード機能があり、Microsoft Sentinel 運用状況をグラフで確認することができます。
- ・ アラートが発生すると Logic Apps を通してカスタマーポータルにケースが起票されます。ダッシュボードを参照することで、ケースの傾向を確認することができます。

(参考) ダッシュボードイメージ



グラフの名前	概要
State - ServiceNow	ケースのステータスの比率
State - Logic Apps	Logic Apps のステータスの比率
Severity - Logic Apps	Logic Apps のステータスと重大度ごとのケース数
Product - Logic Apps	Logic Apps のステータスとサポートデバイスごとのケース数

ケースのステータスはケースそのものの状態を、Logic Apps のステータスは Logic Apps の処理完了時の状態を示します。

3.5.2. ログ収集

- 本サービスでは、Microsoft Sentinel に標準で実装されているデータコネクタを利用してログを収集します。Microsoft Sentinel 上でデータコネクタによって対象デバイスと連携します。
- 本機能のご利用開始時点では、収集するログの保存期間（Azure Monitor のログ保存期間）は、Microsoft Sentinel のデフォルトの 30days から変更し、90days で設定します。
- ご利用開始後に作業依頼を申請いただくと、期間の変更（30, 31, 60, 90, 120, 180, 270, 365, 550, 730days より選択）が可能です。なお、ログ保存期間は、Sentinel 全体での設定となり、対象デバイスごとに保存期間を設定することはできません。



「自動ログ分析/自動通知」「自動ログ分析/自動通知/自動対処」をお申し込みの場合、ログ保存期間が短いと十分なログ検証が行えないため、90 日以上に設定することを推奨しております。

【ログ収集】

対象デバイス	利用するデータコネクタ	デフォルト設定ログ (有効化必須)	ログ収集 Configuration 設定変更（選択有効化可能）
Azure AD Identity Protection / P2	Azure Active Directory、 Azure Active Directory Identity Protection	SigninLogs、 AuditLogs、 Non-Interactive User Sign-In Logs (Preview)	Service Principal Sign-In Logs (Preview) Managed Identity Sign-In Logs (Preview) Provisioning Logs (Preview) ADFS Sign-In Logs (Preview) User Risk Events (Preview) Risky Users (Preview) Network Access Traffic Logs (Preview) Risky Service Principals (Preview) Service Principal Risk Events (Preview)
Microsoft Defender for Identity	Microsoft Defender for Identity	データコネクタから 収集されるログ	-

Microsoft Defender for Endpoint	Microsoft Defender for Endpoint	データコネクタから収集されるログ	-
Microsoft Defender for Cloud Apps	Microsoft Defender for Cloud Apps	Alerts	Cloud Discovery Logs (Preview)
Microsoft Defender for Office 365	Microsoft Defender for Office 365	データコネクタから収集されるログ	-

(参考) Microsoft Azure Sentinel データコネクタ

<https://learn.microsoft.com/ja-jp/azure/sentinel/data-connectors-reference>

3.5.3. 自動ログ分析

- 本サービスでは、Microsoft Sentinel に標準で実装されている分析ロジックを用いて自動ログ分析を行います。
- Microsoft Sentinel 上では、各デバイスに対して、NTT コミュニケーションズがカスタムで検知ロジックを投入できるわけではなく、Microsoft 社のロジックを有効にするのみであり、Microsoft 社の検知ロジックに従ってアラートが出力されます。(UEBA を除く)
- 本サービスでは、既定の Severity (重要度) のアラートが検知された場合に、NTT コミュニケーションズ独自の Playbook の機能により自動通知・自動対処を実施します。
- デバイス毎に有効化している分析ロジックは以下の通りです。これ以外のロジックは原則利用しません。

対象デバイス	有効化する分析ロジック
Azure AD Identity Protection / P2	<ul style="list-style-type: none"> Advanced Multistage Attack Detection (Fusion) *1 Create Incidents based on Azure Active Directory Identity Protection alerts
Microsoft Defender for Identity	<ul style="list-style-type: none"> Advanced Multistage Attack Detection (Fusion) *1 Create Incidents based on Microsoft Defender for Identity Alerts
Microsoft Defender for Endpoint	<ul style="list-style-type: none"> Advanced Multistage Attack Detection (Fusion) *1 Create Incidents based on Microsoft Defender for Endpoint Alerts
Microsoft Defender for Cloud Apps	<ul style="list-style-type: none"> Advanced Multistage Attack Detection (Fusion) *1 Create Incidents based on Microsoft Cloud App Security alerts
Microsoft Defender for Office 365	<ul style="list-style-type: none"> Advanced Multistage Attack Detection (Fusion) *1 Create Incidents based on Microsoft Defender for Office 365
UEBA*2	※判定ロジック・スコアリングは Microsoft の標準機能ですが、お客さまに通知する閾値を NTT コミュニケーションズ独自で設定しています。

*1 Fusion は Microsoft Sentinel に標準で実装されている脅威検知の機能 (手法) です。

*2 UEBA は Microsoft Sentinel に標準で実装されている脅威検知の機能（手法）です。

<UEBA（ユーザー/エンティティ行動分析）>

- UEBA は Microsoft Sentinel に標準で実装されている脅威検知の機能（手法）です。
この機能では、ユーザーやその他のエンティティの通常の行動を学習し、異常行動を検知し、その行動にセキュリティ上の影響があるかどうかを自動で分析しアラートを生成します。

（参考）ユーザー/エンティティ行動分析（UEBA）

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/sentinel/identify-threats-with-entity-behavior-analytics>

<Fusion（相関分析）>

- Fusion は Microsoft Sentinel に標準で実装されている脅威検知の機能（手法）です。
この機能では、複数のデバイスからの様々なアラートを分析し、高度なマルチステージ攻撃（ランサムウェア等）を自動で検出し、Fusion アラートを生成します。

（参考）Microsoft Sentinel での高度なマルチステージ攻撃の検出

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/sentinel/fusion>



Fusion の有効化に関する注意事項

Fusion の有効化については、お申し込みは不要です。

自動ログ分析・自動対処をご利用の場合に、ご利用のデバイスの「Advanced Multistage Attack Detection（Fusion）」分析ロジックを有効に設定します。

ただし、複数のデバイスからのアラートを分析するという Fusion の特性上、2つ以上のデバイス（UEBA を除く）の「自動ログ分析/自動通知」もしくは「自動ログ分析/自動通知/自動対処」をご利用の場合のみ、その対象間のアラートについて相関分析（Fusion アラート出力）と自動対処が行われます。

※「ログ収集」のみご利用のデバイスは、Fusion の相関分析・自動対処の対象になりません。

3.5.4. 自動通知/自動対処

NTT コミュニケーションズが自動通知/自動対処の Playbook を作成し、Microsoft Sentinel に適用します。また、自動通知/自動対処が正常に機能するか監視を行います。

機能の詳細については、ご契約者様に提供される「WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 【契約者様向け】自動対処機能説明書」をご参照ください。

【自動通知/自動対処 機能一覧】

対象デバイス	通知	対処	
		ホストに関する対処	アカウントに関する対処
		端末隔離/端末隔離解除 ウィルススキャン/駆除	パスワードリセット等の 対処
Azure AD P2	●		●
Microsoft Defender for Identity / Fusion	●	●*1	●
Microsoft Defender for Endpoint	●	●	
Microsoft Defender for Cloud Apps	●		●
Microsoft Defender for Office 365	●		
UEBA	●		

*1 Microsoft Defender for Endpoint がシステムに存在する場合のみ実施します。

- これらの対処は、所定の Severity 以上のアラートを検知した場合に実行します。
- Microsoft Defender for Office 365 と UEBA は自動通知のみの機能のため、通知のみを実施します。

3.6. 提供機能（作業依頼機能）

3.6.1. アラートレポート作成

- お客さまから指示いただいた期間のアラートを一覧（csv）にて報告します。アラートの中身の調査報告は含まれません。
- アラート種類：SigninLogs、SecurityAlert、BehaviorAnalytics から 1 つ選択
- アラート期間：過去 2 か月



「ログ保存期間変更」の作業依頼により、ログの保存期間を 90days より短い期間に変更された場合は、「アラートレポート作成」の作業依頼を申請いただいても、アラートレポートの提供はできません。

(参考) アラートレポート作成イメージ

1 SigninLogs

TimeGenerated [Osaka, Sapporo, Tokyo] ↑↓	ResourceId	OperationName
> 6/19/2022, 8:05:48.113 PM	/tenants/9576ddad-1e62-49d8-9bb3-68b953620b79/providers/Microsoft.aadl...	Sign-in activity
> 6/19/2022, 8:05:44.003 PM	/tenants/9576ddad-1e62-49d8-9bb3-68b953620b79/providers/Microsoft.aadl...	Sign-in activity
> 6/19/2022, 8:05:13.947 PM	/tenants/9576ddad-1e62-49d8-9bb3-68b953620b79/providers/Microsoft.aadl...	Sign-in activity
> 6/19/2022, 6:17:03.319 PM	/tenants/9576ddad-1e62-49d8-9bb3-68b953620b79/providers/Microsoft.aadl...	Sign-in activity
> 6/19/2022, 6:17:02.850 PM	/tenants/9576ddad-1e62-49d8-9bb3-68b953620b79/providers/Microsoft.aadl...	Sign-in activity
> 6/19/2022, 6:17:02.826 PM	/tenants/9576ddad-1e62-49d8-9bb3-68b953620b79/providers/Microsoft.aadl...	Sign-in activity

1 SecurityAlert

TimeGenerated [Osaka, Sapporo, Tokyo] ↑↓	DisplayName	AlertName	AlertSeverity
> 6/19/2022, 7:51:35.509 PM	SS_Inada_TestAnalysisRule	SS_Inada_TestAnalysisRule	Low
> 6/19/2022, 7:11:31.745 PM	'Donoff' malware was detected	'Donoff' malware was detected	Informational
> 6/19/2022, 7:02:15.907 PM	Malicious XML file associated with Emotet campaign	Malicious XML file associated with Emotet campaign	High
> 6/19/2022, 7:02:15.881 PM	'Donoff' malware was prevented	'Donoff' malware was prevented	Informational
> 6/19/2022, 5:12:01.716 PM	'Donoff' malware was prevented	'Donoff' malware was prevented	Informational
> 6/19/2022, 4:56:32.058 PM	'Donoff' malware was prevented	'Donoff' malware was prevented	Informational
> 6/19/2022, 4:52:24.121 PM	Malicious XML file associated with Emotet campaign	Malicious XML file associated with Emotet campaign	High

(参考) 期間設定と CSV エクスポートイメージ

3.6.2. ログ保存期間変更

- 本サービスでは、Azure Monitor のログ保存期間は、デフォルトの 30days から変更し 90days として設定しておりますが、以下の何れかの期間設定に変更が可能です。
- ログ保存期間は、Sentinel 全体での設定となり、対象デバイスごとに保存期間を設定することはできません。
- 保存期間設定値：30, 31, 60, 90, 120, 180, 270, 365, 550, 730days



90days より短い期間に変更される場合は、「アラートレポート作成」の作業依頼を申請いただいても、アラートレポートの提供はできなくなりますので、予めご了承ください。

(参考) Log Analytics 設定画面イメージ



3.6.3. アラート調査

- 本サービスで自動通知されたアラートに対して不明点がある場合は、該当のインシデント ID を申請いただくことで、調査し報告します。

本サービスにて、お客さまへ通知されるアラート調査報告項目は以下となります。

アラート調査報告項目
アラート件名
重大度
アラート対象製品
修復手順または緩和策
説明



Logic Apps の実行結果の保存期間はデフォルト 30days となっており（期間は、お客さまにて変更可能です）、Logic Apps の実行結果に関するお問い合わせについては、本設定以前の内容についてはお答えしかねます。

3.6.4. 対処除外設定

- 本サービスでは、「自動ログ分析/自動通知/自動対処」機能をご利用の場合、特定の重要度のアラートが検知された端末、アカウントについて、自動的に端末隔離やパスワードリセットを行います。
- 上記の自動対処が不要な端末、アカウントがある場合、作業依頼の申請に基づき、端末やアカウントを個別に対処除外に設定することができます。
- 「自動ログ分析/自動通知/自動対処」を利用している場合で、自動対処を行わず自動通知のみとした際に、申請に基づき設定します。
- 「自動ログ分析/自動通知/自動対処」を利用している場合で、自動通知のみだったが自動対処も行いたい際に、申請に基づき設定します。

【作業依頼で設定が可能な除外設定のパターン】

対象	作業項目	概要	対処除外設定リスト
ホスト	全ホスト対処除外	全ての端末を自動対処の対象から除外します	不要 (NTT コミュニケーションズにて準備)
	全ホスト対処 (対処除外設定の全解除)	全ての端末を自動対処の対象とします	不要 (NTT コミュニケーションズにて準備)
	指定ホスト対処除外	お客さま指定の端末のみ自動対処の対象から除外します	所定のフォーマットにてご提示が必要*1
アカウント (ユーザー)	全アカウント対処除外	全てのアカウントを自動対処の対象から除外します	不要 (NTT コミュニケーションズにて準備)
	全アカウント対処 (対処除外設定の全解除)	全てのアカウントを自動対処の対象とします	不要 (NTT コミュニケーションズにて準備)
	指定アカウント対処除外	お客さま指定のアカウントのみ自動対処の対象から除外します	所定のフォーマットにてご提示が必要*1

*1 フォーマットは新設時と同様。詳細は、「[6.1.4. 対処除外設定リスト](#)」を参照してください。

3.7. サービスレベル

- 本サービスは、SLA/SLO の定めはありません。
- 本サービスでは、自動ログ分析（自動ログ収集）機能の正常性の監視結果の確認を、セキュリティアドバイザリーセンターにて行います。この確認の頻度は、営業日に 1 日 1 回とします。

3.8. 提供地域

- 日本国内の法人、かつ日本国内での契約を対象とします。

※当サービスでは NTT コミュニケーションズ側の工事として、お客さま Azure テナントに Microsoft Sentinel を Japan-East リージョンで構築します

4. 工事・故障対応

4.1. 工事

4.1.1. 各種工事

本サービスの工事の種類は、以下となります。対象のサポートデバイスについては、「[3.4 提供機能一覧](#)」を参照してください。

【提供工事一覧】

分類	工事	単位	対象	申込形態
基本設定	基本設定工事	契約	Sentinel 基盤	新設
バックアップ	ログバックアップ工事	契約	Sentinel 基盤	変更
利用設定	利用設定工事（ログ収集）	デバイス	「ログ収集」のサポートデバイス	新設/変更
	利用設定工事（自動ログ分析/自動通知）	デバイス	「自動ログ分析/自動通知」のサポートデバイス ※UEBA の任意ログソース追加	新設/変更
	利用設定工事（自動ログ分析/自動通知/自動対処）	デバイス	「自動ログ分析/自動通知/自動対処」のサポートデバイス	新設/変更
設定変更	設定変更工事（ログ収集 Configuration 設定変更）	デバイス	・ Azure AD P2 ・ MDCA	変更
	設定変更工事（自動ログ分析 任意ログソース変更）	デバイス※	・ UEBA	変更
利用削除設定	利用削除設定工事（ログ収集）	デバイス	「ログ収集」のサポートデバイス	変更
	利用削除設定工事（自動ログ分析/自動通知）	デバイス	「自動ログ分析/自動通知」のサポートデバイス	変更
	利用削除設定工事（自動ログ分析/自動通知/自動対処）	デバイス	「自動ログ分析/自動通知/自動対処」のサポートデバイス	変更

<基本設定工事>

サービス開通にあたり、基本設定を行う工事です。

<ログバックアップ工事>

サービス開通後にログのバックアップ設定の変更（バックアップを ON にする、または ON にしたものを OFF にする）を希望される場合に発生する工事です。

ログバックアップ工事によりバックアップ設定を ON とした場合のログ保存期間は「7 年」です。対象デバイス毎に、バックアップ対象のログが異なります。

【バックアップ対象一覧】

バックアップ対象	Azure AD Identity Protection / P2	Microsoft Defender for Identity	Microsoft Defender for Endpoint	Microsoft Defender for Cloud Apps	Microsoft Defender for Office 365	UEBA
SigninLogs	●					
AuditLogs	●					
AADNonInteractiveUserSignInLogs	●					
AADServicePrincipalSignInLogs	●					
AADManagedIdentitySignInLogs	●					
AADProvisioningLogs	●					
ADFSSignInLogs	●					
AADUserRiskEvents	●					
AADRiskyUsers	●					
NetworkAccessTraffic	●					
AADRiskyServicePrincipals	●					
AADServicePrincipalRiskEvents	●					
SecurityAlert	●	●	●	●	●	
McasShadowItReporting				●		
AzureActivity						●*
SecurityEvents						●*

*UEBA の自動ログ分析/自動通知の対象として、任意ログ「AzureActivity」「SecurityEvents」をお申し込みされた場合のみ対象です。

<利用設定工事>

「ログ収集」、「自動ログ分析/自動通知」、「自動ログ分析/自動通知/自動対処」を新設と同時に利用する場合、または、開通後に利用追加する場合に発生する工事です。



UEBA の任意ログソースを「自動ログ分析/自動通知」の対象としたい場合の工事も含みます。

<設定変更工事（ログ収集 Configuration 設定変更）>

対象のデバイスについて「ログ収集」を利用している場合で、Configuration 設定の変更を希望される場合に発生する工事です。

<設定変更工事（自動ログ分析 任意ログソース変更）>

「自動ログ分析/自動通知」の UEBA を利用している場合で、UEBA の対象ログソースに変更が必要な場合に発生する工事です。



一度の申し込みで指定いただく、対象または対象外とする任意ログソースの数は問いません、幾つでも 1 デバイスとして扱います。

<利用削除設定工事>

「ログ収集」「自動ログ分析/自動通知」「自動ログ分析/自動対処」を利用している場合で、その利用をやめる場合（本サービス自体の契約は継続）に発生する工事です。

4.1.2. 工事に関する留意事項

<初期開通時（新設工事）>

- NTT コミュニケーションズ側では以下の設定（工事）を実施します。
 - ・サブスクリプション名（修正）
 - ・リソースグループ作成
 - ・Log Analytics ワークスペース作成
 - ・Lighthouse 接続設定
 - ・監視用 Logic Apps のデプロイ
 - ・Playbook 用のアカウント作成
- 初期開通時（新設工事）に際して、お客さまには事前に以下の作業を実施いただく必要があります。

・「WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR NTT Com 工事用アカウント準備ガイド」に基づき、工事用の NTT コミュニケーションズ利用アカウントの作成

・提供機能「自動ログ分析/自動通知/自動対処」を「Azure AD Identity Protection / P2」、「Microsoft Defender for Identity」、および「Microsoft Defender for Endpoint」のいずれかの対象デバイスについてお申し込みの場合で、「検知試験用端末・ホスト準備」を「お客さま準備」を選択された場合の検知試験用端末・ホスト準備



「Microsoft Defender for Identity」をお申し込みされた場合は、「お客さま準備」のみとなります。

<変更工事>

本サービスの変更工事時に、初期開通時と同様、お申し込み内容により検知試験用端末・ホスト準備をお客さま側で実施いただきます。

<廃止工事>

本サービスの廃止（解約）の場合は、「ログ収集/自動ログ分析/自動通知/自動対処の設定は全削除」または「ログ収集設定のみ残し、自動ログ分析/自動通知/自動対処の設定は全削除」から選択いただきます。

本サービスの廃止工事時に、初期開通時に設定いただいた工事用の NTT コミュニケーションズ利用アカウントの削除を、お客さま側にて実施いただきます。



ログバックアップの設定（ON/OFF）は削除されずそのままとなります。本サービスの廃止に伴いログバックアップ設定も OFF にしたい場合は、事前に変更申込が必要です。



Log Analytics ワークスペースは、Sentinel 以外で利用している可能性があるため廃止工事では削除いたしません。



廃止工事は、廃止申込書にて指定された廃止希望日の翌日以降に行います。そのため、カスタマーポータルへのアクセスは不可となりますが、自動分析/自動通知/自動対処が廃止希望日の翌日以降も処理される場合があります。

また、廃止希望日の翌日以降から NTT コミュニケーションズ利用アカウント削除依頼までに、NTT コミュニケーションズ側で実施する廃止工事のため、お客さまテナントにログインし作業を実施いたします。

4.2. 故障対応

本サービスでは、本サービスで提供する Playbook 機能の正常性確認のための監視ロジック*から異常を検知した場合や、作業依頼等の対応中に故障が疑われる挙動を検知した場合、またお客さまより故障のお問い合わせをいただいた場合に、調査を行い以下の対応を行います。

- ・必要に応じて NTT コミュニケーションズにて原因の調査を実施し、故障と判断された場合はセキュリティアドバイザリーセンターよりお客さま通知を行います。
- ・また、NTT コミュニケーションズにて復旧対応を実施する必要がある場合については、NTT コミュニケーションズにて復旧対応を行います。

*Microsoft 社の提供する基盤を監視しているわけではありません。お客さま Azure テナントの故障については、お客さまにて対応をお願いいたします。

【調査結果と通知・対応】

故障箇所	原因	通知・対応
Playbook の故障 NTT コミュニケーションズ Azure テナントの故障	NTT コミュニケーションズの設定または Playbook が原因と判断された場合	カスタマーポータルを通じてお客さまに通知し、NTT コミュニケーションズにて復旧対応を行います
	お客さま側の設定が原因と判断された場合	カスタマーポータルを通じてお客さまに通知し、お客さまにて復旧対応を行っていただきます
	Microsoft 側の故障が原因と判断された場合、または Microsoft 社から故障情報がアナウンスされた場合	カスタマーポータルを通じてお客さまに通知する (Microsoft 社が提供するクラウドサービスのため、NTT コミュニケーションズによる復旧対応は行いません)
カスタマーポータルの故障	ServiceNow の故障が原因と判断された場合、または ServiceNow 社から故障情報がアナウンスされた場合	カスタマーポータルが利用できない場合、NTT コミュニケーションズお客さまサポートに故障情報を掲載します (他社が提供するクラウドサービスのため、NTT コミュニケーションズによる復旧対応は行いません)

お客さま Azure テナントの異常	お客さまが調達し、他社が提供するクラウドサービスのため、NTT コミュニケーションズによる調査、復旧対応は行いません
--------------------	--

- サポートサイト

本サービス情報サイトとして、NTT コミュニケーションズ サポートサイトを公開しています。

<https://support.ntt.com/wideangle-soar>

5. 料金

5.1. サービスの価格

本サービスの料金は、WideAngle プロフェッショナルサービス マネージド SOAR 利用規約の料金表に定めます。

本サービスに係るオプション「作業依頼ポイント追加」の料金は、本オプションサービスで追加される追加ポイント数 5 ポイント単位に応じて計算します。

6. お申し込み・ご利用

6.1. お申し込み

6.1.1. 申込方法

- ・ お申し込み内容によって、新設、変更、簡易変更、廃止の申込パターンがあります。
- ・ ご契約者情報の変更（譲渡/改称/継承等）は、簡易変更申込書で対応します。

申込パターン	説明	申込書	ヒアリングシート	対処除外 設定リスト
新設	新規で契約する場合	●	●	●*1
変更	料金変更が発生する以下の契約変更の場合 ・ 利用機能（ログ収集/自動ログ分析/自動通知/自動対処）の追加/変更/削除 ・ オプション（作業依頼ポイント追加）の追加/変更/削除 料金変更が発生しない以下の契約変更および設定変更の場合 ・ 利用機能（ログ収集のみ）の追加/削除 ・ ログ収集（Configuration 設定変更）の設定変更 ・ 自動ログ分析（UEBA の任意ログソース変更）の設定変更 ・ ログバックアップ（ON/OFF）の設定変更	●	●*2	-
簡易変更	料金変更が発生しない以下の契約変更の場合 ・ 譲渡/改称/継承等による契約者情報の変更 ・ 契約者住所の変更 ・ 契約に関する連絡先の変更	●	-	-
廃止	契約を解約する場合	●	●	-

*1. 新設時に自動対処の除外設定をリスト指定で申し込む場合に必要です。

*2. 変更時、オプション（作業依頼ポイント追加）の追加/変更/削除のみの申し込みの場合は、ヒアリングシートは不要です。

6.1.2. 申込書

- ・ サービスを新規で契約する際、契約内容を変更する際、解約する際の申込書式です。
- ・ 申込パターンによって、新設、変更、簡易変更、廃止の申込書があります。

申込パターン	申込書
新設	新設申込書
変更	変更申込書
簡易変更	簡易変更申込書
廃止	廃止申込書

6.1.3. ヒアリングシート

- サービス提供に必要な詳細ヒアリング情報をお客さまに記入いただくシートです。

6.1.4. 対処除外設定リスト

- サービスを新規で契約する際、また新設時以降に対処除外対を設定する場合や、設定内容を変更する場合、自動対処の除外対象（ホスト、アカウント情報のリスト指定）を記入いただくリストです。
- 対処除外設定が不要な場合や、リスト指定以外の設定（全ホスト、全アカウント指定）の場合は、お客さまでの提示は不要です。
- 対処除外設定リストは「ホスト指定用（Host.csv）」と「アカウント指定用（Account.csv）」の2種類あります。新設時のヒアリングシートの「サービス開通時の自動対処除外設定条件」の指定内容に合わせて、対処除外設定リストを添付いただきます。



新設時以降に対処除外対象を設定する場合や、対処除外対象の設定内容を変更する場合は、お客さまのカスタマーポータル画面より、作業依頼にてお申し込みください。

6.1.5. 開通試験

<開通までの流れ>

- 下記4点の作業・確認をもって、開通 OK 判断を実施します。
 - ① 保守情報シート一括登録：カスタマーポータルを利用するために必要なお客さま情報を登録
 - ② Microsoft Sentinel 設定：お客さまの Azure、Microsoft Sentinel 等へのサービス提供に必要な設定を実施
 - ③ ローカル試験：お客さま環境にデプロイした Playbook の動作確認
 - ④ 検知試験：お客さまのご協力のもとアラートを発生させ、ログ収集/自動ログ分析/自動通知/自動対処が想定通り動作するかどうか確認

<検知試験概要>

- Azure AD Identity Protection / P2、Microsoft Defender for Identity、Microsoft Defender for Endpoint、Microsoft Defender for Cloud Apps において「自動ログ分析/自動通知/自動対処」をお申し込みの場合に実施します。
- また、試験実施にあたっては NTT コミュニケーションズ 工事統制担当より検知試験用のガイドおよびチェックシートをお客さまに送付します。
- 試験用の端末については、サービスお申し込み時にお客さま準備/NTT コミュニケーションズ準備を選択いただきます。ただし Microsoft Defender for Identity を申し込まれた場合はお客さまにご準備いただきます。また、試験用のアカウントについても別途ご準備いただきます。
- 検知試験に必要な端末・アカウントの準備にご協力いただけない場合や、下記の試験内容の実施に同意いただけない場合には、検知試験は実施いたしませんのでご了承ください。

【サポートデバイス毎の試験内容】

サポ-ト デバイス	内容
Azure AD Identity Protection / P2	<ul style="list-style-type: none"> • 試験用端末に Tor Browser をインストール • Tor Browser を立ち上げ、匿名 IP アドレスから Microsoft 365 ポータルにサインイン • Sentinel にてインシデントの生成がされていること、Logic Apps にて該当 Playbook の実行成功を確認 • 試験用アカウントのパスワードリセット動作を確認
Microsoft Defender for Identity	<ul style="list-style-type: none"> • 試験用端末にて擬似攻撃ツール（JoeWare の NetSess ツール）をダウンロード • 試験用端末にて擬似攻撃ツールを実行（ユーザーと IP アドレスの偵察を実行） • Sentinel にてインシデントの生成がされていること、Logic Apps にて該当 Playbook の実行成功を確認 • 試験用アカウントのパスワードリセット動作を確認
Microsoft Defender for Endpoint	<ul style="list-style-type: none"> • 試験用端末にて検知試験（PowerShell ISE によるファイル作成・編集）を実施 • Sentinel にてインシデントの生成がされていること、Logic Apps にて該当 Playbook の実行成功を確認 • 試験用端末が隔離（通信がブロック）されていることを確認 • 試験用端末が隔離から自動復帰し、通信が正常に実施できることを確認

Microsoft Defender for Cloud Apps	<ul style="list-style-type: none"> • Microsoft Defender for Cloud Apps 管理者センターにてポリシー（試験用端末の IP アドレスを「危険な IP アドレス」として設定）の準備 • 試験用端末にて Microsoft Defender for Cloud Apps 管理者センターへサインイン • Sentinel にてインシデントの生成がされていること、Logic Apps にて該当 Playbook の実行成功を確認 • 試験用アカウントのパスワードリセット動作を確認 • 事前準備したポリシーの無効化・削除
-----------------------------------	--

6.2. 標準開通日

- 標準開通日は次の日程です。
- NTT コミュニケーションズが申し込みを受理し、不備が無いことを確認した時点から起算した日数となります。尚、当日 15 時を過ぎた場合は翌営業日受付の扱いとなります。

申込種別	標準開通日	備考
新設	30 営業日	左記の標準開通日は、お客さまの条件が満たされている場合の目安です。お客さま側の条件が満たされていない場合は、例外となります。
廃止	11 営業日	
変更	27 営業日	左記の標準開通日は、お客さまの条件が満たされている場合の目安です。お客さま側の条件が満たされていない場合は、例外となります。
簡易変更	5 営業日 (目安)	申込書に希望開通日はなく、また開通案内も送付しません。左記の標準開通日は目安です。

6.3. 開通案内・配布同梱物

- 新設申し込み、変更申し込みの場合に開通案内を発行します。
- 廃止申し込み、簡易変更申し込みの場合、開通案内等は発行しません。送付物は、NTT コミュニケーションズの BOX サービスを利用して送付します。次の手順でファイルを受領していただきます。
 - ① お客さまへ、送信元が“<wa-customer@ntt.com>” からメールが届きます
 - ② お客さまはメール本文の URL をクリックして、BOX の Web サイトへアクセスします
 - ③ ファイルダウンロードには、申込書に記載のパスワードを入力します

- 各申し込みで送付するものは次のものです。

申込 送付物	新設 「サービス利用開始のお知らせ」	変更 「サービス利用内容変更のお知らせ」
開通案内（ご利用内容のご案内）	●	●
サービス利用に必要な情報の通知 -カスタマーポータル URL/ユーザーID	●	-

6.4. お問い合わせ・作業依頼受付

- セキュリティアドバイザリーセンターにて、お客さまからのお問い合わせおよび作業依頼を受け付けます。
- お問い合わせは、同時にお問い合わせできるのは 1 件までとし、回答が完了し、ケースが Close となるまでは、次のお問い合わせをすることはできません。
- 作業依頼は、同時にご依頼できる作業は 1 件までとし、作業が完了し、ケースが Close となるまでは、次の作業依頼をすることはできないため、窓口よりお断りさせていただきます。

窓口業務	受付時間	手段	主な内容
お問い合わせ受付 作業依頼受付	カスタマーポータル受付： 24 時間 365 日 対応時間：平日（年末年始 除く）9:00～17:00	カスタマー ポータル	<ul style="list-style-type: none"> サービスの内容に関するお問い合わせ 作業依頼に関する受付、対応 カスタマーポータルの操作方法に関するお問い合わせ

※カスタマーポータルの故障などによりご利用できない場合、一時的にお問い合わせをお受けできない場合がございます。

6.5. 故障受付

- セキュリティアドバイザリーセンターにて、お客さまからの故障のお問い合わせを受け付けます。

窓口業務	受付時間	手段	主な内容
故障お問い合わせ 受付	カスタマーポータル受付： 24 時間 365 日 対応時間：平日（年末年始 除く）9:00～17:00	カスタマー ポータル	<ul style="list-style-type: none"> 故障に関するお問い合わせ

※カスタマーポータルの故障などによりご利用できない場合、一時的にお問い合わせをお受けできない場合がございます。

6.6. お問い合わせ受付・運用受付/通知方法

- 作業依頼受付、問い合わせ受付の対応方法は以下となります。
- お客さまとのやり取りはカスタマーポータルを介して行われます。

項目	対応方法
お問い合わせ	<ul style="list-style-type: none"> お客さまからのお問い合わせは、カスタマーポータルの「お問い合わせ」よりお客さまにてケース起票、お問い合わせ内容を入力いただき、セキュリティアドバイザリーセンターから回答をします。
作業依頼	<ul style="list-style-type: none"> カスタマーポータルの「作業依頼」から申請いただき、セキュリティアドバイザリーセンターで内容を確認します。 「作業依頼」が受付された場合は「ケース」として起票されクローズまで管理されます。ケースとして起票された時点でポイントが消費されます。 「作業依頼」に不備がある場合は受付受理できない旨、理由が通知されます。



作業依頼の中でも、アラート調査の場合、Microsoft からの当該アラートに関する情報開示度によっては作業依頼の受理・不受理の判定までに、3 営業日かかる場合があります。

<お問い合わせについて>

- マネージド SOAR のサービス仕様に関する問い合わせにご回答いたします。
- マネージド SOAR の技術仕様に関する問い合わせにご回答いたします。

- Microsoft 製品/Sentinel 製品に関する問い合わせはご回答できません。お客さまにて調達先にお問い合わせください。
- お客さま Azure テナントのログに関するお問い合わせにはご回答できません。また、お客さま Azure テナントのログの調査が必要なお問い合わせにはご回答できません。
- マネージド SOAR で検知もしくは対処した結果の通知をトリガーとしたイベントの詳細について確認したい場合はアラート調査の作業依頼をお願いいたします。

6.7. 工事通知（メンテナンス通知）

工事（メンテナンス）の通知は、カスタマーポータルに掲載します。

(1) 計画メンテナンス

- お客さま影響のある作業は「メンテナンス」として、サービス仕様として定義されたとおり事前の案内など必要な条件を満たした上で実施します。
- NTT コミュニケーションズが提供するカスタマーポータルおよび監視装置（監視端末/NW 機器等）は、毎月第 1 日曜日 22:00~翌月曜日 6:00（8 時間）までをメンテナンスウィンドウとしています。当該時間に監視が中断され、お客さまがカスタマーポータルにアクセスできない場合があります。当該時間に発生したイベント通知は、メンテナンスウィンドウが完了後に通知されます。
- 本メンテナンスウィンドウを利用して、NTT コミュニケーションズは、基盤設備のバージョンアップや不具合等の修正を行います。バグや脆弱性の対応については、NTT コミュニケーションズの判断基準において、月に 1 回の本メンテナンスウィンドウで、パッチ適用等の対処を行います。
- メンテナンスウィンドウにて NTT コミュニケーションズが作業を行う場合は、1 週間前までにカスタマーポータル上で事前にアナウンスされます。
- カスタマーポータルは ServiceNow を利用しているため、ServiceNow のメンテナンスや障害によりアクセスできない場合があります。ServiceNow は通常年に 2 回アップデートがあり、1 か月ごとにセキュリティパッチがリリースされます。

(2) 緊急メンテナンス

- サービスで利用するクラウドサービス (ServiceNow) のメンテナンスは、NTT コミュニケーションズにて実施時間帯をコントロールできない場合があります。その場合はメンテナンスウィンドウ以外の時間帯でメンテナンスが実施される可能性があります。
- 緊急を要するメンテナンスについては、可能な限り早くカスタマーポータル上でアナウンスします。

(3) お客様 Azure 環境に対するメンテナンス

- サービスで提供する Playbook 機能のバージョンアップおよび Playbook が参照する Client Secret の更新作業として、それぞれ 1 年に 1 回のメンテナンスウィンドウを設けます。
- メンテナンス作業におけるお客様影響は有りません。サービスに影響が出る事無く実施されます。また、Playbook 機能のバージョンアップについては年 1 回必ず実施されるわけではありません。
- サービス影響は発生しませんが、メンテナンスを実施する場合には、メンテナンス実施の 2 週間前までにカスタマーポータル上でアナウンスします。
- Playbook、Client Secret 以外のお客様 Azure テナントのメンテナンスについては、NTT コミュニケーションズでは実施しません。Microsoft 社によるメンテナンスが実施される可能性があります、NTT コミュニケーションズからメンテナンス通知を行うことはありません。

6.8. 故障通知

- 本サービスでは、本サービスで提供する Playbook 機能の正常性確認のための監視ロジックから異常を検知した場合や、作業依頼等の対応中に故障が疑われる挙動を検知した場合に、故障の通知を、カスタマーポータルに掲載します。
- また ServiceNow（カスタマーポータル）の故障情報を把握した場合には、カスタマーポータルの故障の通知をサポートサイトに掲載します。

サポートサイト

本サービス情報サイトとして、NTT コミュニケーションズ サポートサイトを公開しています。

<https://support.ntt.com/wideangle-soar>

7. 重要事項・留意事項

7.1. 重要説明事項

7.1.1. ライセンスについて

- 本サービスのカスタマーポータルは、ServiceNow 社のサービスを利用していますが、ServiceNow 社とお客さまとの間に契約関係は生じません。

7.1.2. 品質について

- 本サービスは、SLA（Service Level Agreement）を規定しません。

7.1.3. アクセス回線について

- Microsoft Sentinel までの通信回線、および本サービスで提供されるカスタマーポータルへの通信回線については、お客さまにてご準備ください。回線にかかる費用（ISP 料金を含みます）は、本サービスとは別に発生し、ご利用になった通信会社から利用料金が請求されます。

7.1.4. 最低利用期間

- 最低利用期間は 1 ヶ月とします。
- 最低利用期間内に本サービスにかかる契約の解約があった場合は、当該解約があった日から最低利用期間末日までの期間に相当する本サービス利用料金を一括してお支払いいただきます。
- オプションについては、最低利用期間はありません。

7.1.5. 料金

- 本サービスの料金は利用規約 別紙 料金表に記載します。
- 初期費用は利用開始月に一括料金の請求とし、変更費用は変更月に一括料金の請求とします。
- 月額料金は、契約開始日もしくは契約変更日が毎月 2 日以降となる場合、契約開始日もしくは契約変更日を含む月の料金は日割り計算します。また、契約解除日が毎月末日前日以前となる場合、契約解除日を含む月の料金は日割り計算します。
- サービスの数量の変更があった場合、当該月の月額料を日割りします。
- 契約の解除およびサービスの廃止があった月の月額料は、契約解除および廃止した時点の数量をもとに当該月の利用料を計算します。

- お客さま都合により本サービス開通日までにご利用のご案内をお受取になれなかった場合は、本サービスの料金の返還はいたしません。
- 初期設定作業または工事の着手後完了前に契約の解約があった場合は、契約者はその作業に関して解約等があったときまでに着手した作業の部分についてそれに要した費用の支払を要します。
- Microsoft Azure（この中には Sentinel や Logic Apps を含みます）の利用に対する課金は、本サービスの料金には含まれません。別途お客さまにてお支払いいただく必要があります。

7.1.6. 提供中止

- NTT コミュニケーションズは、災害・広域停電・インターネット障害・パンデミック等の事態が発生し、本サービスを提供することが困難な場合は本サービスの一部又は全部の提供を中止することがあります。
- ServiceNow、Azure Lighthouse、Microsoft Sentinel またはお客さま Azure テナントが故障した場合、NTT コミュニケーションズは本サービスの一部または全部の提供ができない場合があります。

7.1.7. 契約の成立

- 契約の成立は、お客さまからお申し込みを頂いた日をもって成立するものとさせていただきます。ただし、そのお申し込みに不備がある場合等、お承りできない事があります。また、お承りのご連絡は、ご利用開始時に通知する『ご案内』をもって代えさせていただきます。

7.1.8. 契約の解除

- お客さまが本サービスの利用規約に記載のお客さまの義務の規定に違反したとき、NTT コミュニケーションズは契約を解除することがあります。

7.1.9. 免責

- NTT コミュニケーションズは本サービスを現状有姿で提供するものであり、契約者は、NTT コミュニケーションズが本サービスについて正確性、実現性、有用性、有効性を保証するものではないことを了承し、契約者の責において本サービスを利用するものとします。
- NTT コミュニケーションズは、本規約の変更等により契約者が本サービスを利用するにあたり NTT コミュニケーションズが提供することとなっている設備、端末等以外の設備、端末等の改造又は変更（以下、この条において「改造等」といいます）を要する場合であっても、その改造等に要する費用については負担しません。

- NTT コミュニケーションズは、本サービスが日本国外の地域の規制（法令、規則、政府ガイドライン等を含みますがこれに限りません）に適合していること、および日本国外の地域で利用可能であることについて何ら保証を行わず、契約者もしくは契約者のエンドユーザーによる日本国外の地域での本サービスの利用または契約者もしくは契約者のエンドユーザーの保存データおよび生成等データの日本国外から日本国内への移転によって発生したいかなる損害についても NTT コミュニケーションズは責任を負いません。
- Microsoft Sentinel、Microsoft Azure および、NTT コミュニケーションズが提示する、アラート通知、自動対処、レポート、調査報告、各種設定等は、お客さまの IT 環境を熟知したのではなく、お客さま IT 環境での動作を完全に保証するものではありません。お客さまの判断により実施決定いただいた設定変更に伴い発生した如何なる事象においても、NTT コミュニケーションズは責任を負いません。
- NTT コミュニケーションズは、本サービスがすべてのセキュリティ上の脅威や攻撃を検知、乃至は対処することについて何ら保証を行わず、これらに関連して契約者に損害が発生したとしても責任を負いません。
- Azure Lighthouse または Microsoft Sentinel が動作しないこと（Microsoft に起因する Azure Lighthouse または Microsoft Sentinel の不具合、使用不可を含みますがこれに限りません）に起因して本サービスが提供できない場合、NTT コミュニケーションズは責任を負いません。
- お客さまご自身で、Microsoft Sentinel をはじめとした Azure の設定を変更することにより、本サービスが正常に提供できなくなる可能性があります。ご了承ください。（データコネクタの設定を変更する、ログ保存期間を変更する、Logic Apps の設定を変更する、Playbook 用アカウントに MFA（多要素認証）を設定する²等を含みますがこれに限りません）
- 上記の場合、設定等の切り戻しはお客さま責任で実施いただく必要があります。また NTT コミュニケーションズ側での再工事が必要となった場合には、別途工事費が発生いたします。

7.1.10. サービスの廃止

- 本サービスは、お客さまからの廃止申込により本契約は終了し廃止されます。

7.2. 留意事項

7.2.1. ご利用について

- 提供する各種推奨事項の実行はお客さまの判断・責任において行われるものとします。

² Playbook 用アカウントに MFA（多要素認証）を設定すると、Playbook の一部の機能が動作しなくなります。

- アラートレポートやアラート調査、ダッシュボードの情報はその状況に関して保証や意見表明などを行うものではありません。
- 本業務の中で発生した著作物に関する著作権は NTT コミュニケーションズに帰属します。お客様の内部使用に限って利用は可能ですが、関連会社以外の第三者に配布・公開はできません。

7.2.2. サービス全般の注意事項について

- ご利用開始時および変更時に通知する『ご案内』は、送信元が<wa-customer@ntt.com>からメール通知が届きますので、このドメインからのメールが受信できるようにしてください。また、送付物をダウンロードする際のパスワードは、お申し込み時にお客さまに記載いただいたものを使用し NTT コミュニケーションズから通知は致しません。
- カスタマーポータルへの通知は、送信元が<nttcomsac@service-now.com>のメールアドレスから、通知が送られます。本メールが受信できるように設定される必要があります。
- 違約金発生期間は、当該契約のご利用開始日から起算します。
- 違約金は、当該契約の解約があった時点の月額料金を元に違約金発生期間末日までの未払い期間で計算します。
- 同業者様からのお申し込みはお断りすることがあります。予めご了承ください。
- NTT コミュニケーションズ セキュリティアドバイザリーセンター被災により運用業務の継続に支障をきたす場合でも、お客様の業務が停止する等のリスクは最小限のため、DR/BCP 対策をとらない運用体制となっています。
- Microsoft Azure（お客様テナント）、Microsoft 365 E5 Security、端末、パソコン、サーバー、OS、アプリケーション自体の仕様に関する問い合わせ、および設定等については、お受けできません。
- （アカウントの権限について）工事や保守作業のため、お客様テナントのアカウントを貸与いただく必要があります。
- サービスの提供終了時にはアカウント返却のご連絡をしますので、確実にアクセスできないように対応をお願いします。
- 故障などで再構築が必要な場合には権限を再付与いただく必要があります。

改訂履歴

バージョン	主な変更	日付
1.00	初版発行	2023 年 3 月 31 日
1.01	・「Microsoft Defender for Identity」→「Microsoft Defender for Identity / Fusion」	2023 年 7 月 12 日
1.02	・ MDI に関する提供条件の記載漏れ対応 ・ カスタマーポータル故障時の問い合わせ受付修正	2023 年 11 月 22 日
1.03	・「Playbook 用アカウントに MFA をかけることができない」旨を明記 ・「NTT Com 指定休業日」の明示化	2024 年 1 月 17 日